



心を一つに奏でた合唱 素晴らしい歌声をありがとう！

12月7日(木)に行われた合唱コンクール。たくさんの保護者の皆様に見ていただく中、各クラスがそれぞれの音色を奏でながら、素晴らしい合唱を披露してくれました。1年生は元気に大きな声で例年よりもレベルが高く感じました。2年生はリハーサルから僅かな日程で、よくここまでどのクラスも仕上げてきたのが驚きでした。そして、3年生は発声



(3年全体合唱の様子)

練習を兼ねたはじめの全体合唱から緊張感と気合が感じられました。どのクラスも甲乙つけ難く、審査の集計も僅差になるほどの息の合った素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。後ろで観覧していた2年生の「すごい!、見れて良かった。」と言う声がたくさん聞こえてきました。桜台中学校の素晴らしい伝統を引き継いでくれたと思います。ありがとう!

◎11月7, 14日(火) 民生委員さんありがとうございます!

7日は常盤地区、14日は光明地区の民生委員さんたちが、朝早くから寒い中挨拶運動をしてくださいました。毎月、来ていただいているのでみんなの挨拶の声も増えてきて、とても爽やかな気分がいい1日の始まりになります。



◎11月17日(金) 台湾の中学生と3年生が英語で交流をしています。

10月~12月にかけて、3年生が英語の授業で台湾の中学生とインターネットを通じて遠隔で交流授業をしています。自己紹介やお互いの文化や観光地を紹介するスライドを作成してプレゼンテーションしたり、日本や中国に関するクイズを出し合ったりしました。この活動を通

して3年生は検索した写真や動画を編集して紹介文を英語で作文したり、質問したいことなどを翻訳ソフトを使って英語や中国語で練習して会話する力を着けていました。



◎11月21日(火) 泉南地区初任者公開授業研修会

泉南地区の英語科の初任者の先生と指導主事の先生が1年4組の英語の授業を見に来てくれました。AIDリルのBase in Osakaで



スピーキング練習をした後、「Alice and Humpty Dumpty」を班で英語の寸劇をして、それを Google スライドでお互いに評価して共有する様子を観ていただきました。



◎11月28日(火) 税の作文で桜台中学校が表彰されました！



国税庁が募集する「税についての作文」に毎年3年生が多数応募し協力しているということで、岸和田税務署より感謝状をいただきました。また、3年3組の さんの作文が岸和田市長賞を受賞しました。(裏面に紹介しています)

◎11月30日(木) PTA社会見学を実施しました。

コロナ禍で中止していたPTA社会見学を文化委員さんに企画していただき、実施しました。40名募集のところ10名の参加でしたが、アサヒビール工場を楽しく見学しました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



税金について調べてみた

岸和田市立桜台中学校

私たちが納めた税金はみんなの安全を守る警察、消防や、道路、水道の整備といった「みんなのために役立つ活動」や年金、医療、福祉、教育など「社会での助け合いのために必要なたくさんのお金をみんなを出し合って負担するのが「税金」です。つまり税金は、みんなで社会を支えるための「会費」のようなものだと言えるでしょう。お父さんやお母さんは毎年稼いだお金や税金を自分で計算して税務署へ申告して所得税や住民税を国や地方に納めています。

このような税金の使い道は、私たち国民が選んだ代表者が決めているようです。身近な税金の使いみちとして病気になる時、風邪をひいた時やケガをした時に病院で手当てをしてもらうとお金がかかります。かかった金額の一部には税金

が使われています。次に老後も安心して暮らして行くために国から受け取るお金が年金です。その年金の一部にも税金が使われています。そして自分がお年寄りになった時、体が思うように動かなくなったりときなどに介護サービスを利用するとその利用料金の一部にも税金が使われていることが分かりました。今までニュースなどで税金の事を耳にすることはあったけど、今回調べてみて、初めてどこで税金が動いているのかがたくさん分かりました。

国に入ってくるお金の約6割は税金です。残りの約4割は「公債金」という借りたお金で補っています。借りたお金は返さなければならぬのでこのお金が増えていくことが今、日本で問題となっていています。令和5年度末には返さなければならぬお金が約一千六十八兆円にもなるようです。そしてこのお金は私たちが納める税金の約十五年分にも相当するそうです。私には想像もできない程の額ですが、この先の日本は大丈夫なのかとても心配になりました。

少子高齢化とは、生まれてくる子供が減り、お年寄り、つまり六十五歳以上の高齢者が増えると税金が使われている医療や年金、介護などに必要なお金が増えていくこととなります。しかし、高齢者の生活を支える若い人の数は減っていくと予想されています。なので、このままいくと税金を納める人が少なくなっていくと思います。なので社会の変化に合わせて税のしくみも考えて行くことが必要だと思えます。国民のために税金の集め方や使いみちをしっかりと考えてほしいと思います。

たくさん抱えた日本のために、自分ができることは、学生としてしっかりと学んで立派な大人になり、仕事に就き税金を納めることが大切だと思いました。

